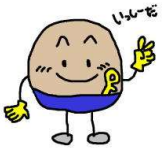
家庭数配付

石田小学校だより　３月号　　甲府市立石田小学校（電話　２２２－５４１４）



悠紀だより

平成２９年　３月１６日　発行責任者 校長 乙黒　崇

～～　姿勢　言葉遣い　掃除　～～

３月も半ばになり，いよいよ年度末を迎えています。そこで，学校だより４月号で，平成２８年度のキーワード「姿勢」，「言葉遣い」，「掃除」について，子供たちの体と心の成長に併せて，考えてみたいと思います。

子供たちの意識調査にも「学校は楽しい」という気持ちが９５％に達していました。このデータは，私たち教員や保護者，地域の願いでもあり，うれしく思います。ただ，１００％ではないので，それを目指していきたいと思います。しかし，「楽しい」という概念について，子供たちはどの部分から感じられるのでしょうか？

「何かをするときは楽しい」，「友だちや先生と一緒に過ごす楽しさ」，「いろいろな行事や活動が楽しい」等，いろいろ感じていることでしょう。これらの礎となるのは，『健康』です。心や身体の健康が，なんといっても大事です。私は，子供たちにはこの健康を常に意識してほしいと願っています。これを第一とし大切に考えたら，そのために留意したり考えたりすることが，注意力／集中力／計画力／忍耐力／想像力／危険予知・回避力の育成に繋がります。

では，具体的に生活の中でどのように取り入れ，活動していったらよいのでしょうか。その方策として，「姿勢」，「言葉遣い」，「掃除」がとてもよい手立てになると思います。

（１）姿勢について

よい姿勢で物事に臨むことは，心構えを整えることです。スポーツはもちろんのこと，文化・芸術活動でも，すべて心と身体の「構え」があります。この構えを身につけることで，自らを高めることができます。

（２）言葉遣いについて

よく若い人たちが遣う新しい言葉は別として，悪い言葉や汚い言葉は遣っているうちに知らず知らずのうちに身についてしまいます。この恐ろしいところは，本人には意識がなく，日々積み重ねて，結果的に自らの品性／品格を落とすことに気がつかないという点です。良い言葉遣いは，人格を高めます。

（３）掃除について

まず，掃除に関わる教育様式の考え方ですが，欧米とアジアの国では大きく違います。欧米では，学校掃除は掃除をする人や会社が行います。それに対してアジア，とりわけ日本では，掃除を心を磨く重要な手段の一つであると考えられてきた背景があります。ですから，掃除は心の鍛錬と充実を目指しています。

私は，平成２８年度のスタートとなる４月１日に，先生方に特に「姿勢」，「言葉遣い」，「掃除」の指導について，話をし，取り組んできました。その成果に期待しています。全てを完全にすることは難しいですが，実施しうる機会を捉えて，実践していくことは大事です。御家庭でもそんな場面がありましたら，子供たちにチャレンジさせてあげてください。。

◇◇　知識を身につけ，知恵とする　◇◇

今，学力向上は大きな課題です。しかし，今だけでなくさらに長い時間でみると学習は，大切です。では，何のため，なぜ，勉強するのでしょうか？私は，「幸せになる」ためだと考えています。今の激動する社会の中で，荒波にもまれても，身につけた知識とその発展である知恵を駆使して，力強く生きていくための力をつける事が大切だと思います。

元来子供たちは，知的探究心をたくさん持っています。この探求心は，「できる」だけでは満足しません。「なぜ」，「不思議だなあ」，「どうして」という気持ちを自分の体験により，「おもしろい」，「分かった」等それがある形で表現されたり深められたりすると，「勉強はおもしろい」ことに繋がります。

そこで大切なことは，周りからの「声かけ」です。私たち大人は，うっかりまたはつい，「勉強（宿題）しなさい。」と口癖のように言ってしまいがちです。子供が工夫したことや気がついた点，頑張ったこと等，あるいは「なぜそうなるの？」とか「教えて」等ちょっとした配慮をしてあげると子供の反応は，変わってきます。ぜひ，子供たちの知的好奇心をくすぐる声かけをしてみてください。

次は，なんといっても読書です。知識はもちろんですが，好奇心や探究心が育ちます。学校の図書室でもここ２，３年でその種類の書籍を購入しました。活用を期待しています。また，本に親しむ，触れる機会を御家庭でも設定していただければとお願いします。

平成28年度一年間，石田小学校への御理解御支援

ありがとうございました。！